



東
中

PTA 通信

NO.1

令和2年8月26日
伊丹市立東中学校
PTA 会長 大宮 優



日頃はPTA活動にご協力いただき、ありがとうございます。本年度もPTA通信を発行いたします。「東中PTA通信」には、毎月の役員会、運営委員会の報告、PTA行事、学校行事等のお知らせを掲載していきます。

★ 会長挨拶 ★



今年度のPTA会長となりました大宮と申します。よろしくお願いいたします。

本来であれば、ここで今年度の活動方針等について、申し上げるべきところではありますが、新型コロナウイルス感染症により社会全体が様々な影響を受けており、PTA活動においても同様の状況にあります。会員の皆様には書面開催という異例の総会において、今年度の事業計画や予算の承認をいただきましたが、学校とも相談しながらその後の役員会において、今年度の「活動の一部を中止・縮小」し、それに伴い、「委員選出は行わない」とこととさせていただきますので、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。また、今後、執行部だけで対応が困難なケースが生じた場合は、応援いただける方を公募させていただくこともありますので、その際はご協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

一方で、学校行事においても、残念ながら体育大会や合唱コンクール、宿泊行事などが中止となってしまいました。生徒達にとって、中学生時代の思い出が「コロナで何も出来なかった」ではなく、「コロナがあったから〇〇があった(できた)」と、なることを望んでいます。そのため、先が見通しにくい中ではありますが、何ができるのかを考えながらPTA活動に取り組んで参りますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、「東中スタイル セブンルール」など、3密を回避した新しい学校生活に取り組み、毎日消毒作業をしていただいている先生方に感謝の意を表し、あいさつにかえさせていただきます。



★ 校長先生挨拶 ★



連日、暑い毎日が続き、木陰が嬉しく思える季節となりました。

東中学校では、6月に学校を再開しました。新型コロナウイルス感染症対策に伴う分散登校、授業や部活動での制限、消毒、手洗いの徹底、マスクの着用など、今までの学校生活とは違う日常がございます。新型コロナウイルス感染症の流行は世の中の流れを大きく変え、今までの日常は日常ではなくなり、周囲では「新しい生活様式」の案内やアピールが毎日のように聞こえてきます。

学校においては、安全・安心が第一と考え、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行っただけで、段階的にできることを増やしてきているところですが、同時に学校においても「新しい学校生活様式」を模索していかなければなりません。今後とも、どうぞ、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、実際に6月学校再開後の生徒の様子ですが、1年生は慣れない校舎、机、黒板、制服、教科書、友達、先生と、本当に緊張した様子でスタートしました。2・3年生も今までとは違う教室、友達に気を遣い合っている雰囲気でのスタートでした。2週間の分散登校が終わり、一斉登校になり少しばかり経過してから、ようやく生徒同士も今のクラスに慣れ、心を許せるようになってるとともに、新しい学校生活様式にも慣れてきて、笑顔や笑い声が聞こえるようになってまいりました。やはり学校には生徒の笑顔や笑い声がよく似合います。

ただ、長期にわたる臨時休業がどれだけ子どもの心に負担をかけているのかは未知数でございます。加えて、1年生であれば、初めての中学校での定期考査、2・3年生は部活動のことなど、心に影響を与えそうなことはたくさんあります。

学校でも、職員全員で生徒の様子をしっかりと見ていこうとアンテナを高めています、いたらないところもあるかと存じます。申し訳ないですが、ご家庭で、お気づきの点等ございましたら、学校にも教えていただけますと幸いです。

保護者の皆様、地域の皆様のご支援を賜りながら職員一同「自ら学び、未来を切り拓く力を育む、心豊かな生徒の育成」に懸命に取り組んでまいりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

校長 垣内 修

